

屋外用 ブースター内蔵UHFアンテナ (家庭用)

UHF ANTENNAS with BUILT-IN BOOSTER

UHF ch.13 ~ 52

U2SWL20BN

U2SWL26BN

ブースター内蔵

75Ω用(F型端子)

水平偏波用

本機は水平偏波用のアンテナです。垂直偏波の地域では使用できません。
お住まいの地域の地上デジタル放送の偏波が分からないときは、販売店にご確認ください。

中・弱電界地域用

障害物があり、見通しの悪い場所などでは受信できないことがあります。

ブースター内蔵

本機に内蔵しているブースターにより、アンテナで受信した地上デジタル(UHF)の電波を増幅して出力します。アンテナからのケーブルを長く配線したり、テレビやレコーダーなど、複数の機器に信号を分けたりする場合に有効です。

目次

ページ

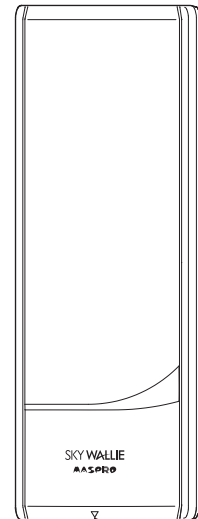
付属品	1
安全上のご注意	2
使用上のご注意	3
設置上のご注意	3
各部の名称	4
接続例	5
ブースター・ミキサー・2分配器を取付ける	5
ケーブルを接続する	
1. ケーブルにF型コネクタを取付ける	6
2. アンテナにケーブルを接続する	6
アンテナを設置する	
壁面に設置する場合	7
マスト・ベランダに設置する場合	8
ブースター電源部を取付ける	
1. ブースター電源部を設置する	9
2. ブースター電源部にケーブルを接続する	9
3. アンテナとブースター電源部との接続を確認する	9
アンテナの取付位置と可動範囲	9
アンテナの方向を調整する	10
アンテナの取外し方	11
テレビがきれいに見られないときは	11
規格表	12
性能	12
保証書	12

取扱説明書

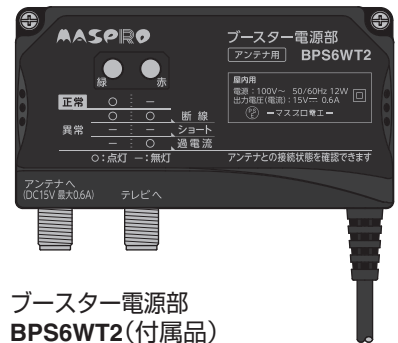
保証書付

SKY WALLIE

スカイウォーリー



ブースター内蔵UHFアンテナ



ブースター電源部
BPS6WT2(付属品)
屋内用(屋外で使用しないでください)

本機には、接続ケーブルを付属していません。
設置場所に応じて、必要な長さの75Ωケーブルをお買求めください。

付属品

防水キャップ	1個
F型コネクタ(5Cケーブル用)	1個
レンチ(10、11、17mm)	1個
壁面取付金具	1個
マスト固定金具	1個
マスト固定ボルト	2本
ブースター電源部	1台

- 正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みください。
- この「取扱説明書」は、いつでも見ることが出来る場所に保管してください。

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

絵表示について

この「取扱説明書」には、製品を安全に正しくご使用いただき、ご使用になる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。

	警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△記号は、注意(警告を含む)が必要な内容があることを示しています。		○記号は、禁止の行為を示しています。		●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を示しています。
---	-----------------------------------	---	--------------------	---	---------------------------------

アンテナ

警告

	●アンテナや付属品を包装しているポリ袋は、お子様の手の届くところに置かないでください。頭からかぶると窒息し、死亡の原因となります。 ●アンテナを煙突の近くなど高温になる場所に設置しないでください。火災の原因となります。		●雷が鳴出したら、アンテナ・ケーブルには触れないでください。感電の原因となります。
---	--	---	---

注意

	●雨降りや強風など、天候の悪い日の屋外での取付作業は非常に危険ですから、絶対にしないでください。また、夏の炎天下では、屋根が非常に熱くなっていますから注意してください。 ●腐食が進んで劣化したアンテナや取付金具を、そのまま使用しないでください。落下して、人や物などに損害や危害を与える原因となることがあります。アンテナや取付金具は、定期的に点検してください。		●アンテナ・取付金具・マストなどに異常があったり、ねじやボルトなどがゆるんだりしていないか、定期的に点検してください。また、台風や大雪などの後は、安全を確保してから、アンテナ・取付金具・マストなどを必ず点検してください。アンテナが破損・変形した場合、新しいものと交換してください。そのままにしておくと、アンテナや取付金具などの部品が、破損、落下して、けがの原因や建造物に損害を与える原因となることがあります。 ●テレビやレコーダーからの75Ωケーブルをアンテナへ接続するときは、テレビやレコーダーのACプラグをACコンセントから抜いて作業を行なってください。ACプラグをACコンセントに接続したままケーブルの接続作業をすると、使用しているテレビによっては、感電の原因となることがあります。 ●アンテナを取付けた状態で、強風時には大きな荷重がかかります。安全性と強度を充分確保できる壁面にしっかりと取付けてください。アンテナが落下して、けがの原因となることがあります。
	●高所に取付ける場合、アンテナやアンテナ部品の落下などによって、人や物などに危害や損害を与えたりすることがないように、安全な場所を選んで設置してください。 ●アンテナの取付工事を行うときは、落下防止のため、ネットを張ったり、アンテナや取付金具・工具などをひもで固定物に結んだりするなど、安全対策をしてから作業してください。 ●アンテナの取付作業は、安全確保のため、必ず2人以上で行なってください。 ●高所での作業は非常に危険です。万全の安全対策をして取付けてください。また、屋根に登ると、思ったより高く感じられ、足場も不安定です。滑らないように、充分気をつけて作業してください。 ●感電防止のため、アンテナは電線(電灯線・高圧線・電話線など)からできるだけ離れた場所に設置してください。		●アンテナを高所に設置する場合、技術と経験が必要ですから、必ず販売店にご相談ください。 ●壁面に取付ける場合、壁面の強度がわかる工務店に、必ずご相談ください。

ブースター電源部

警告

	●AC100V以外の電源電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。 ●ACコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。また、重いものを載せたり、物や扉で挟んだり、熱器具に近付けたりしないでください。ACコードが破損して、火災・感電の原因となります。ACコードが傷んだ場合(芯線の露出、断線など)、販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●ブースター電源部の内部に、金属類や燃えやすいものなど、異物を入れないでください。火災・感電の原因となります。		●ブースター電源部は、風通しの悪い場所で使用しないでください。風通しを悪くすると内部に熱がこもり、火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。 ・押入れ・本箱・天井裏など風通しの悪い狭いところに押し込む。 ・テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりする。 ・布や布団でおおったり、包んだりする。
	●ブースター電源部のケースを取外したり、改造したりしないでください。また、ブースター電源部の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は必ず販売店にご相談ください。		

警告

	●ブースター電源部を、風呂場・シャワー室などで使用しないでください。火災・感電の原因となります。		●万一、ブースター電源部を落としたり、ケースを破損したりした場合、ACプラグをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
	●ブースター電源部に水をかけたり、ぬらしたりしないようにしてください。ブースター電源部の上に水や薬品の入った容器を置かないでください。水や薬品が中に入った場合、火災・感電の原因となります。ペットなどの動物が、ブースター電源部の上に乗らないようにご注意ください。尿やふんが中に入った場合、火災・感電の原因となります。		●万一、煙が出ている、変な臭いや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにACプラグをACコンセントから抜き、煙や臭いなくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。また、テレビの画像が映らない、音が出ないなどの症状があるときも、テレビと共にブースター電源部のACプラグをACコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。
	●濡れた手で、ACプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。		●アンテナとブースター電源部は、必ずセットでご使用ください。他の機器または他メーカーのものと組合せて使用しないでください。火災の原因となります。
	●雷が鳴出したら、ブースター電源部およびケーブル・ACプラグ・ACコードには触れないでください。感電の原因となります。		●ACプラグは、ACコンセントに根元までしっかりと差込んでください。すき間があるとゴミがたまり、火災の原因となります。また、ACプラグは定期的にACコンセントから抜いて掃除してください。
	●万一、ブースター電源部の内部に、異物や水が入った場合、ACプラグをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。		●ACプラグを容易に抜き差しできるよう、ACコンセントの周囲に障害物を置かないでください。

注意

	●ブースター電源部は、湿気やほこりの多い場所、調理台や加湿器の近くなど、油煙や湯気などが当たるような場所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。 ●ブースター電源部は、不安定な場所に置いたり、取付けたりしないでください。落下して、けがの原因となることがあります。壁に設置する場合、接着剤やテープなどで取付けしないで、壁面取付用木ねじでしっかりと取付けてください。 ●ブースター電源部は、温室やサンルームなどの、高温で湿度の高い所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。 ●ACプラグをACコンセントから抜くときは、ACコードを引っ張らないでください。ACコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずACプラグを持って抜いてください。 ●ACコードは、結んだり、束ねたりしたままで使用しないでください。発熱して、火災の原因となることがあります。		●ブースター電源部を移動させる場合、必ずACプラグをACコンセントから抜いてください。ACコードが傷つくと、火災・感電の原因となることがあります。 ●お手入れは、安全のため、必ずACプラグをACコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となることがあります。 ●旅行などで長期間、使用しないときは、安全のため、必ずACプラグをACコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。 ●雷の発生が予想されるときは、前もって、ACプラグをACコンセントから抜いてください。落雷によって、火災の原因となることがあります。
			●テレビ受信工事には技術と経験が必要ですから、販売店にご相談ください。

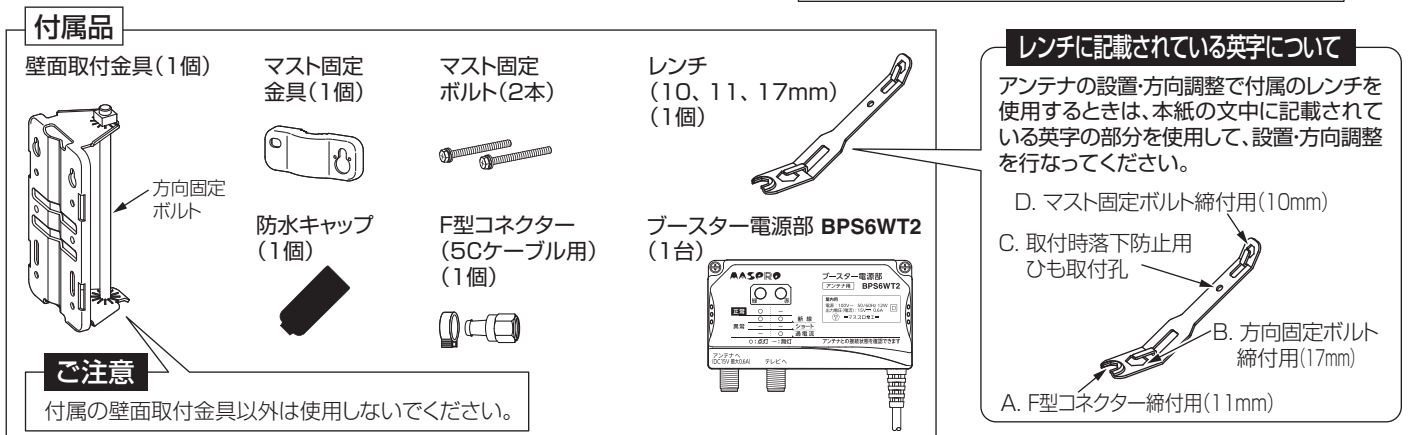
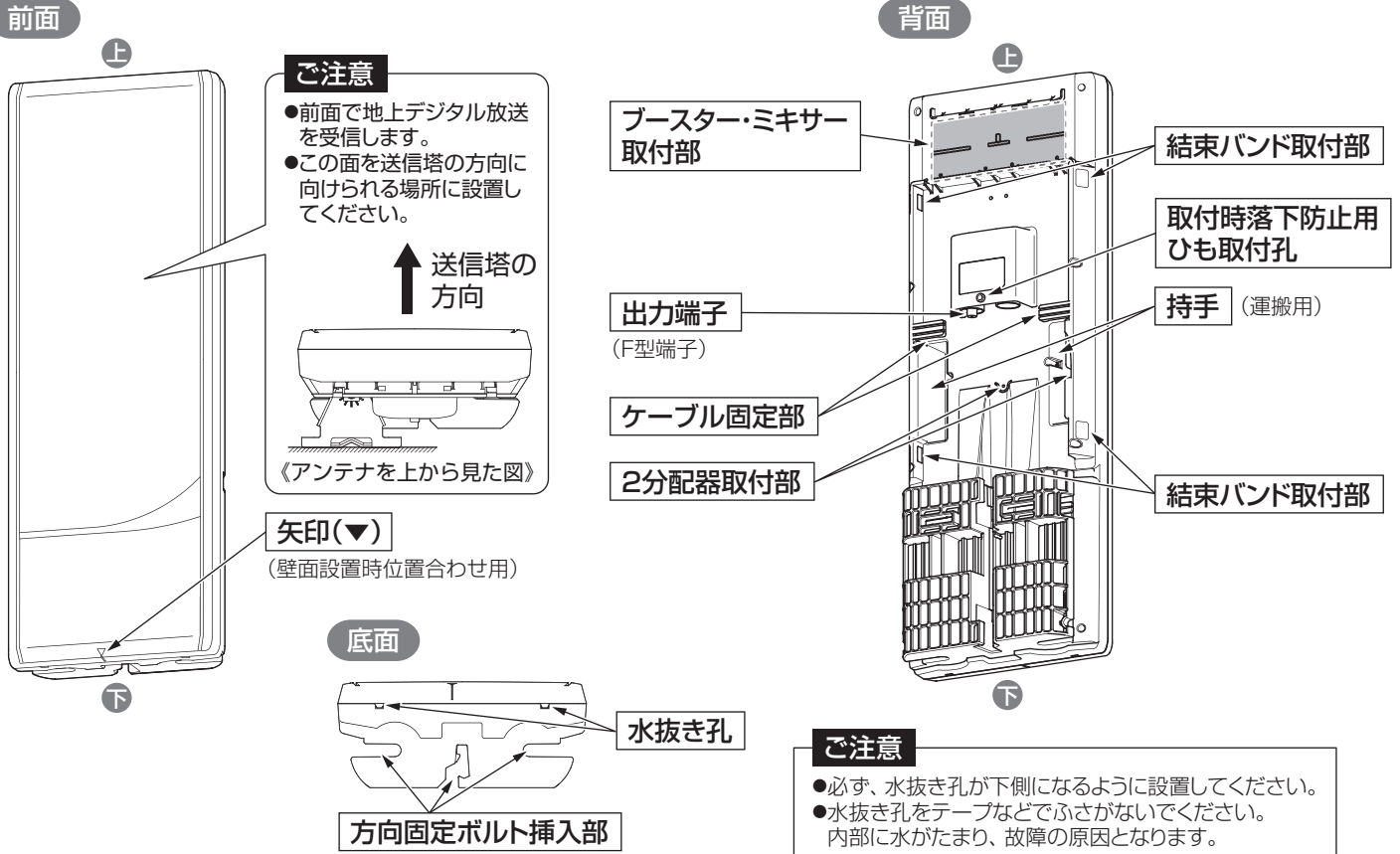
使用上のご注意

- アンテナに塗料やワックス、はっ水剤などを塗らないでください。アンテナの故障やアンテナの表面をいためる原因となります。
- アンテナの前面に市販の反射テープなど金属製のラベルを貼付けないでください。アンテナの性能が低下します。
- シンナー、ベンジン、アルコールなどは、アンテナの表面をいためますから、アンテナの掃除などには使用しないでください。
- このアンテナを使用できるのは、日本国内のみです。海外では使用できません。

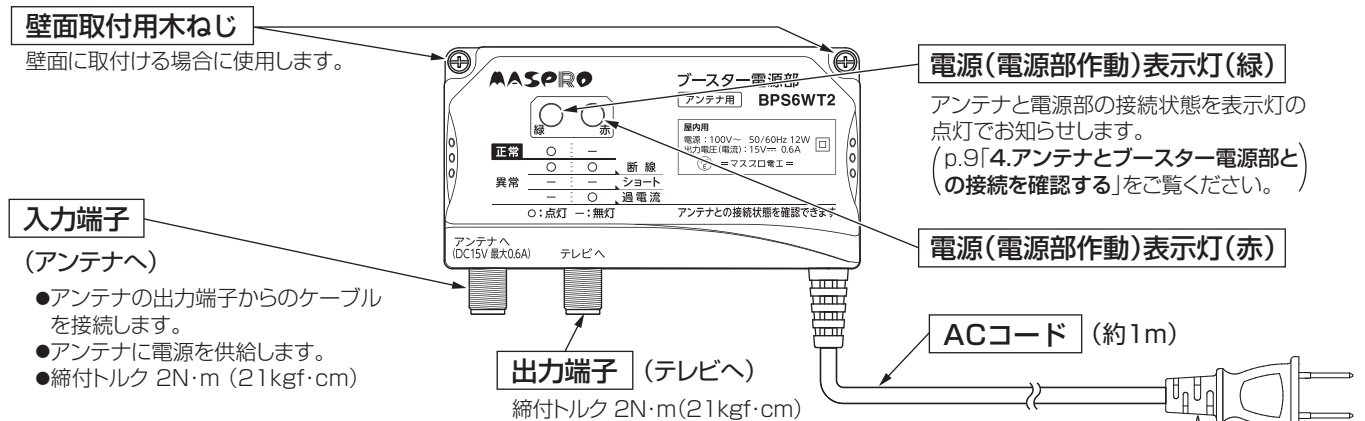
設置上のご注意

- アンテナを上下逆や横向きに取付けると、内部に雨水がたまり、故障の原因となります。アンテナの向きを確認して、正しく取付けてください。
- インパクトレンチなど、急激にトルクが加わる工具は使用しないでください。方向固定ボルトの変形や破損の原因となります。
- 壁面に取付ける場合、一度取付けると壁面に孔が開きます。事前に設置したい場所で、地上デジタル放送の全チャンネルが受信できることをテレビまたはレベルチェッカーなどで確認してから、取付けてください。
- 壁面取付の際は下地がないと、ねじが効かないため、工務店などの専門業者にご相談ください。
- 地上デジタル放送は、直進性が強く、障害物によるレベル減衰が大きくなり受信できなくなるため、送信塔方向の見通しが良い、高い場所を選んでください。
- さらに、アンテナの高さを約2mの範囲で変えることにより、受信状態がより良くなる場合があります。
- 電波が強すぎる、または弱すぎる地域や、お使いの受信環境が良好でない場合、地上デジタル放送が映らないことがあります。(中・弱電界地域用)
- ブースター電源部をラジオの近くに置くと、ラジオに雑音が入ることがあります。できるだけ、ラジオとブースター電源部を離してお使いください。
- ブースター電源部は、温度が上昇しないように、風通しのよい場所に設置してください。また、長期間ご使用にならないときは、ACプラグをACコンセントから抜いてください。
- ブースター電源部は屋外で使用しないでください。
- アンテナに多量の雪が積もった場合、雪の重みでアンテナが破損したり、方向が変わったりする恐れがあります。安全には充分注意して、積もった雪を落としてください。

各部の名称



ブースター電源部 BPS6WT2



ご注意

- ブースター電源部は、アンテナに内蔵されているブースターに電源を供給するものです。
- ブースター電源部は、必ず使用してください。ブースター電源部を使用しないと、アンテナから信号が出力されず、テレビが見られません。

ご注意

ACプラグ(AC100V)は、アンテナの設置、ケーブルの接続が完了してから、ACコンセントに差込んでください。



警告

アンテナとブースター電源部は、必ずセットでご使用ください。他の機器または他のメーカーのものと合わせて使用しないでください。火災の原因となります。

接続例

UHF、BS・110°CS受信

4K8K放送を伝送する場合、4K8K放送に対応している機器、ケーブルを使用してください。

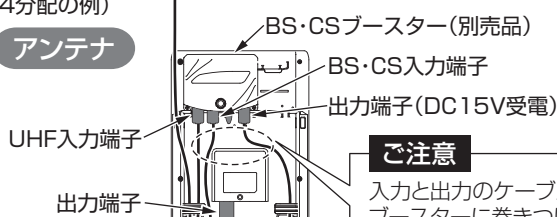
ご注意

- ACプラグ(AC100V)は、工事がすべて終了してから、ACコンセントに差込んでください。
- アンテナとブースター電源部の間で使用する分配器は、「1端子電流通過型」をおすすめします。「全端子電流通過型」を使用すると、電圧降下の影響で配線できる距離が短くなります。

BS・110°CSアンテナ

(4分配の例)

アンテナ



ご注意

入力と出力のケーブルは、できるだけ、束ねたり、ブースターに巻きつけたりしないでください。

低損失75Ωケーブル S5CFB UHF・BS・110°CS

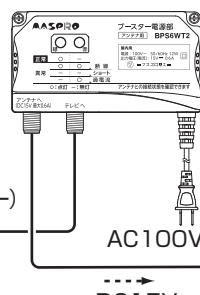
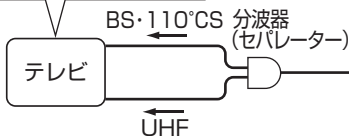
ご注意

出力端子にUHFラインブースターを接続しないでください。アンテナに電源が供給できなくなります。

ブースターとアンテナをつなぐ75Ωケーブルの長さは、約50cmにしてください。

ブースター電源部

BS・110°CSアンテナへの電源供給を必ず切にしてください。



低損失75Ωケーブル S5CFB

DC15V

DC15V

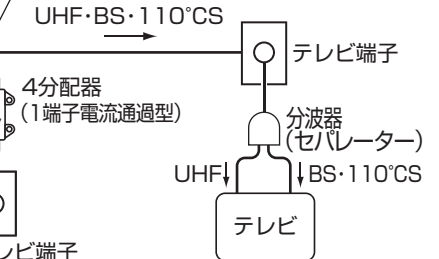
テレビ端子 (電源挿入型)

テレビ端子

テレビ端子

電源部との接続について

- 分配器とテレビ端子を使用しないで、アンテナ(別売のBS・CSブースター)とブースター電源部を直接、接続することもできます。
- アンテナ(別売のBS・CSブースター)と分配器の間に、ブースター電源部を接続することもできます。



ブースター・ミキサー・2分配器を取付ける(別売のブースターなどを使用する場合)

- アンテナ背面に別売のブースター、ミキサー、2分配器を取付けられます。
- ブースター、ミキサーは、横からスライドすることで簡単に取付けられます。
- ブースターまたはミキサーと、2分配器は同時に取付けることができます。
- ブースター・ミキサー・2分配器の蝶ナット、Uボルト、マスト取付金具は取外してください。
- ブースター・ミキサー・2分配器の壁面取付用木ねじが無い場合のねじ推奨品
タッピングねじ1種、呼び径3mm、首下長18mm、バインド頭

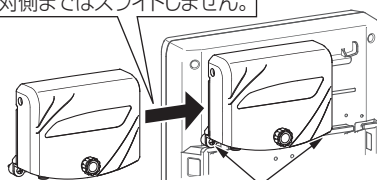
ご注意

- アンテナを壁面・ベランダに取付ける前に、ブースター・ミキサー・2分配器の取付け、およびケーブルの接続を行なってください。
- アンテナ設置後、ブースターのふたを開けるときは、アンテナを左右75°傾けてください。(アンテナ本体を右側または左側に設置時)
- 壁面取付金具を中央に取付ける場合、傾ける方向とは逆にブースターを取付けてください。(アンテナを10°傾けたとき、ブースターの先端が壁面に接触します)
- 当社製のブースター・ミキサー・屋外用2分配器以外は取付けることができません。

ブースターの取付方法

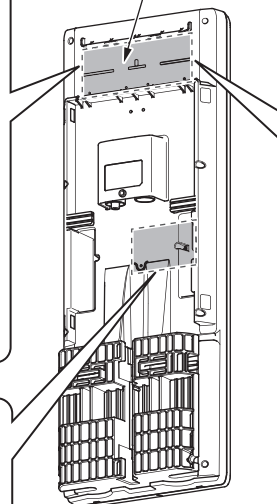
- ①アンテナ背面のブースター・ミキサー取付部に、別売のブースターを横からスライドさせます。
- ②ブースターに付いている壁面取付用木ねじ(1本以上)をねじ込みます。

- 反対側からも押し込みます。
- 反対側まではスライドしません。



ブースター 壁面取付用木ねじ
●締付トルク 0.7N・m(7.2kgf・cm)

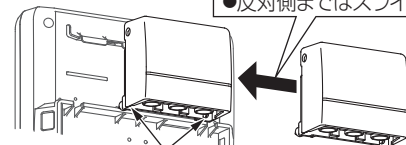
ブースター・ミキサー取付部



ミキサーの取付方法

- ①アンテナ背面のブースター・ミキサー取付部に、別売のミキサーを横からスライドさせます。
- ②ミキサーに付いている壁面取付用木ねじ(1本以上)をねじ込みます。

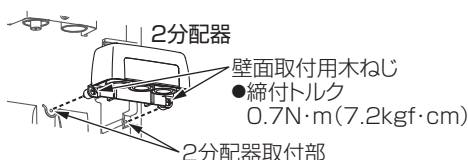
- 反対側からも押し込みます。
- 反対側まではスライドしません。



壁面取付用木ねじ
●締付トルク 0.7N・m(7.2kgf・cm)

2分配器の取付方法

アンテナ背面の2分配器取付部に、別売の2分配器に付いている壁面取付用木ねじ(2本)をねじ込みます。



推奨ケーブル長

ブースター～アンテナ 間 : 約50cm
ミキサー～アンテナ 間 : 約50cm
ブースター～2分配器 間 : 約50cm
ミキサー～2分配器 間 : 約50cm

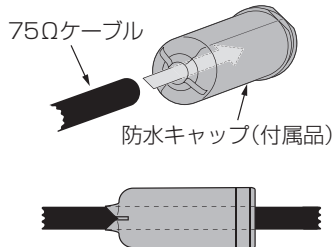
ケーブルを接続する

1. ケーブルにF型コネクタを取り付ける

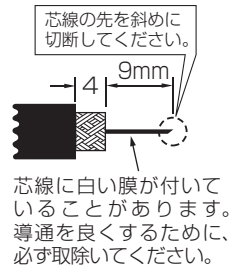
F型コネクタは、確実に取付けないと、受信不良の原因となります。説明をよく読んで取付けてください。

- 接触不良やショートを防ぐため、コネクタは正しいに取付けてください。
- 75Ωケーブルは5Cケーブルまたは4Cケーブルをお使いください。
- 付属のF型コネクタは5Cケーブル用です。4Cケーブルの場合、別売の4Cケーブル用F型コネクタをお使いください。

①ケーブルを付属の防水キャップに通します。

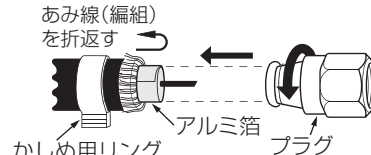


②ケーブルを加工します。
(加工寸法は原寸大です)



③プラグを取り付けます。

1. かしめ用リングにケーブルを通します。
2. あみ線(編組)を折返します。
3. プラグの内側にアルミ箔が入るように、アルミ箔の巻付けられている方向にプラグを回しながら、しっかりと押し込みます。

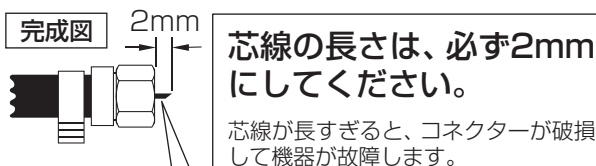
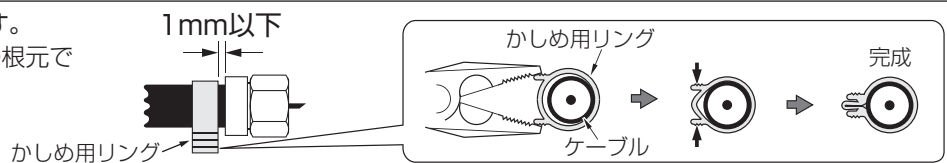


あみ線・アルミ箔のショートに注意

あみ線(編組)やアルミ箔の切れ端は、取除いてください。芯線に接触するとショート状態になり、テレビが見られなくなります。



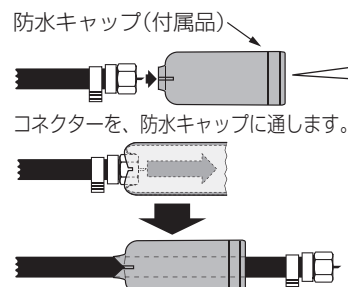
④かしめ用リングをペンチで圧着します。
プラグが抜けないように、プラグの根元でしっかりと圧着してください。



芯線は、まっすぐにしてください。
芯線が曲がっていると、ショートして機器が故障します。



コネクタ取付け後でも防水キャップにケーブルを通せます



注意

防水キャップに通したときに、コネクタの芯線が目や指にささらないように注意してください。

2. アンテナにケーブルを接続する

ご注意

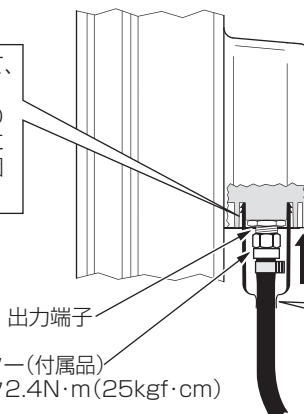
- 75Ωケーブルには、必ず、付属の防水キャップを通して、出力端子に取付けてください。
- 防水キャップを取付けないと、雨水が浸入してショート状態になり、受信不良の原因になります。
- アンテナを壁面に設置した場合、アンテナ本体を中央に取付けると、ケーブルを接続できません。アンテナを設置する前に、出力端子へケーブルを接続してください。

①F型コネクタを、アンテナの出力端子へ接続し、付属のレンチ(A)で締付けます。

②付属の防水キャップを矢印の方向へ確実に押し込みます。

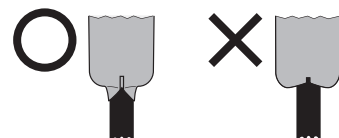
●ケーブルは、コネクタや防水キャップに無理な力がかからないように配線してください。

- 付属の防水キャップは曲がらないようにして、まっすぐ確実に押し込んでください。
- 防水キャップが外れていたり、曲がっていたりすると、雨水が防水キャップやケーブル内に浸入してショート状態になり、受信不良の原因になります。



ご注意

- 防水キャップにビニールテープなどを巻付けて、ケーブルに固定しないでください。雨水がたまり、故障の原因となります。
- 防水キャップの端は中に入り込まないようにしてください。



アンテナを設置する

壁面に設置する場合

壁面に壁面取付金具を設置した後、アンテナ本体を壁面取付金具に組付けます。

壁面設置に必要なもの

- 取付けには、⓪ドライバーが必要です。
- 取付ける壁面に合わせて、木ねじやコンクリートアンカーを別途ご用意ください。

1. 設置する場所での受信確認 **重要**

壁面に取付ける場合、一度取付けると壁面に孔が開きます。
事前に設置したい場所で、地上デジタル放送の全チャンネルが受信できることをテレビまたはレベルチェッカーなどで確認してから、取付けてください。

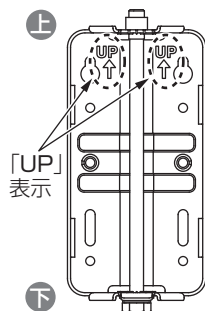
2. 壁面取付金具の仮固定

壁面取付金具の上下を確認(右下図参照)し、市販の直径4.1～5.1mmの木ねじ(または呼び径4～5mmのタッピングビス)2本で壁面との垂直を確認して仮固定します。

ご注意

- 壁面取付金具は、垂直に取付けてください。垂直にしないとアンテナが傾き、最良の受信感度が得られません。
- 壁面取付金具は、軒より51cm以上、アンテナを挿入する側の壁からは32cm以上離して取付けてください。
- 木ねじは必ず強度が充分確保できる柱などに取付けてください。
- 取付けるねじ孔の間隔には防水処理が必要になります。設置の際は工務店などの専門業者に、必ずご相談ください。

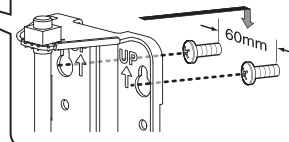
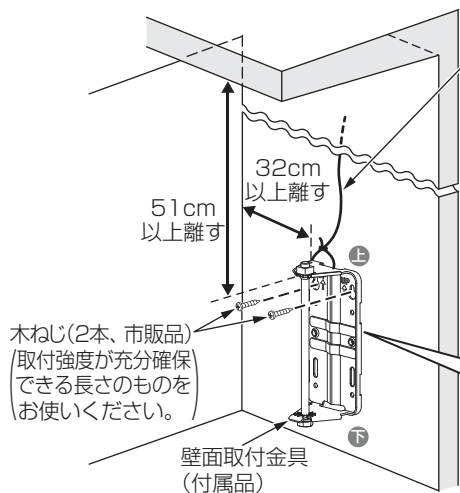
壁面取付金具(付属品)



取付時落下防止用ひも(落下防止のため、市販の丈夫なひもで固定物に結ぶ。)

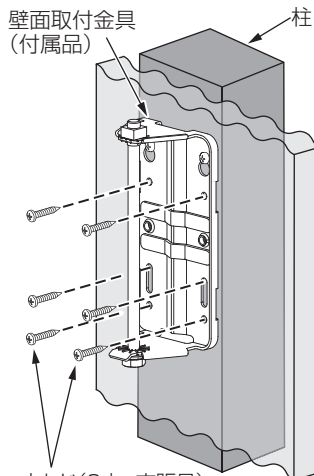
設置のポイント

- 木ねじを先に2本取付け、壁面取付金具の○孔をひっかけて仮固定すると取付けやすくなります。
- 木ねじは、壁面取付金具の○孔に合わせて、正しい間隔で取付けられます。



3. 壁面取付金具の取付け

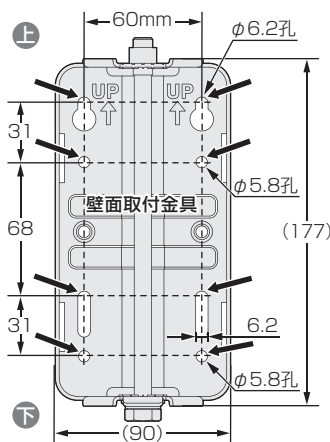
市販の直径4.1～5.1mmの木ねじ(または呼び径4～5mmのタッピングビス)6本で壁面にしっかりと固定します。



木ねじ(6本、市販品)(取付強度が充分確保できる長さのものをお使いください。)

コンクリートアンカー取付寸法

コンクリート製の壁面に取付ける場合、市販のコンクリートアンカーを下図の矢印の位置(8か所)に取付けてください。



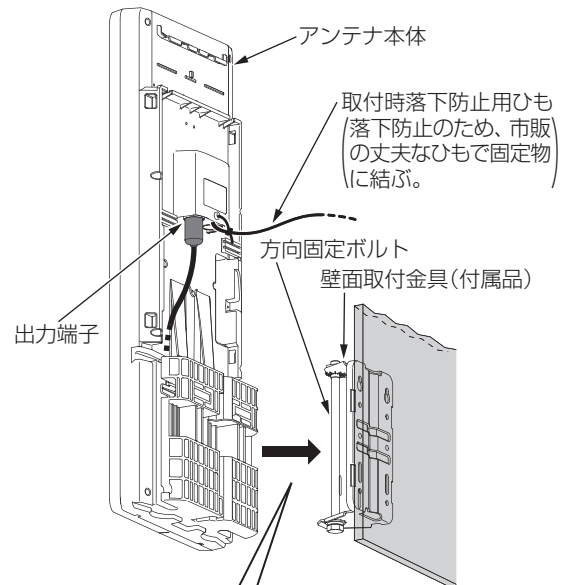
()内の値は、壁面取付金具の外形寸法です。

4. アンテナ本体の取付け

アンテナ本体を壁面取付金具に取付けます。

ご注意

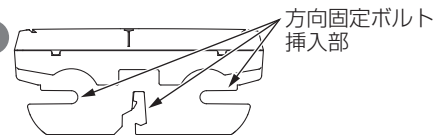
- アンテナ本体を中央に取付ける場合、壁面取付金具に取付ける前に、出力端子へケーブルを接続してください。
- ケーブルの接続に関しては、p.6「2. アンテナにケーブルを接続する」をご覧ください。



アンテナ本体を取付ける位置

アンテナを向ける方向により、アンテナを取付ける位置(方向固定ボルト挿入部)を選択します。
●p.9「アンテナの取付位置と可動範囲」を参考にしてください。

底面

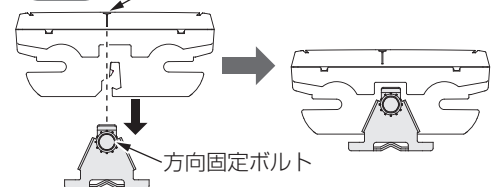


中央に取付ける場合

アンテナカバー下部の矢印(▼)を目安に、方向固定ボルトと矢印位置を合わせて、奥に音がするまで押し込みます。

底面

矢印(▼)



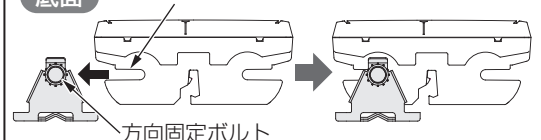
右側または左側に取付ける場合

方向固定ボルトにアンテナ本体の方向固定ボルト挿入部を、奥に音がするまで挿入します。

- アンテナ本体が壁面取付金具に対して水平になるように挿入します。

底面

方向固定ボルト挿入部



マスト・ベランダに設置する場合

マスト・ベランダ設置に必要なもの

取付けには、レンチが必要です。

ご注意

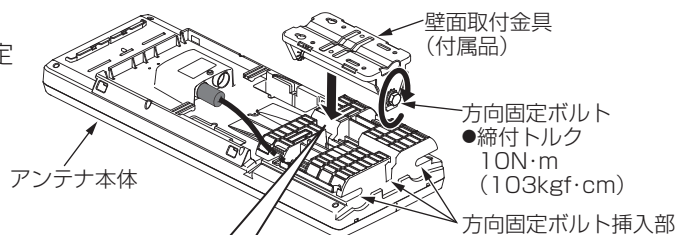
アンテナを地面などに置くときは、アンテナの前面に傷が付かないように、シートなどを敷いてください。

1. 壁面取付金具のアンテナ本体への取付け

アンテナ本体の方向固定ボルト挿入部に、壁面取付金具の方向固定ボルトを挿入し、方向固定ボルトを付属のレンチ(B)で締付けます。
[ベランダ(角柱)に取付けるときは、仮締めでかまいません]

ご注意

壁面取付金具は上下逆に取付けないでください。



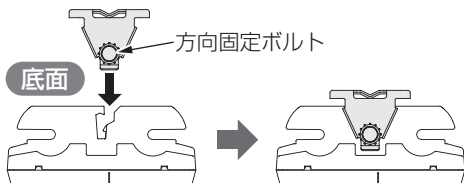
壁面取付金具を取付ける位置

アンテナを向ける方向により、壁面取付金具を取付ける位置(方向固定ボルト挿入部)を選択します。

●p.9「アンテナの取付位置と可動範囲」を参考にしてください。

中央に取付ける場合

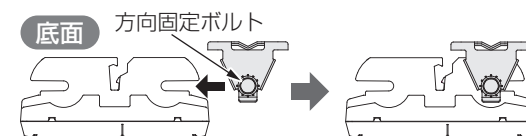
方向固定ボルトを、奥に音がするまで押し込みます。



右側または左側に取付ける場合

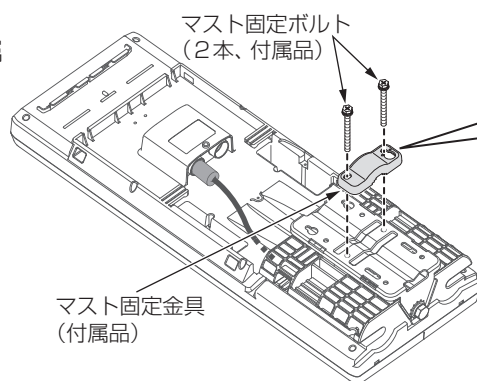
方向固定ボルトを、奥に音がするまで挿入します。

●壁面取付金具がアンテナ本体に対して水平になるように挿入します。



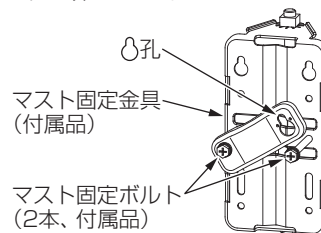
2. マスト固定金具の取付け

付属のマスト固定金具を付属のマスト固定ボルト(2本)で取付けます。



マスト固定金具の取外し

マスト固定金具の○孔をマスト固定ボルトから外します。
(角柱・マストに取付後、再度○孔をマスト固定ボルトの頭にはめます。)

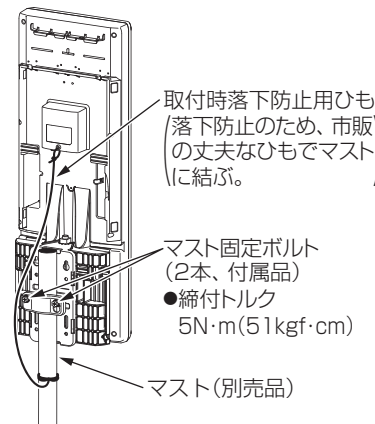


3. マスト・ベランダへの取付け

マストに設置

適合マスト径
φ22～49mm

マストに通して、マスト固定金具の○孔をマスト固定ボルトの頭にはめ、付属のレンチ(D)でマスト固定ボルト(2本)をアンテナが左右に動く程度に仮締めします。



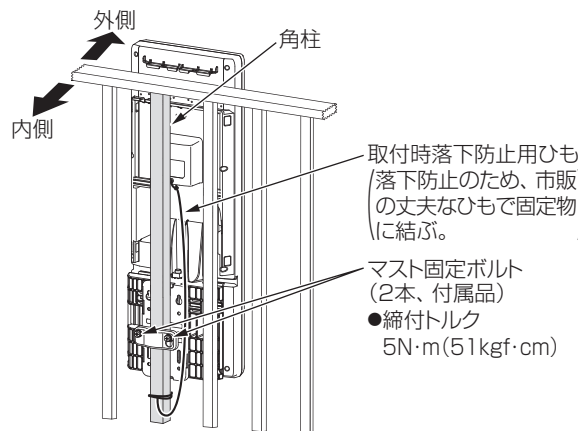
ご注意

- マストは垂直になるように建ててください。
- マストは強風でも倒れないように、しっかりと建ててください。
- 2本のマスト固定ボルトは均等に締付けてください。
- インパクトレンチなど、急激にトルクが加わる工具は使用しないでください。

ベランダに設置

適合角柱寸法
25×25～45×45mm

マスト固定金具の○孔をマスト固定ボルトの頭にはめ、付属のレンチ(D)でマスト固定ボルト(2本)を均等に締付け、垂直になるように設置します。



ご注意

- 設置する前に、ベランダのフェンスの強度を確認してください。
- アンテナは太い角柱部分に取付けてください。
- コンクリートフェンスなどに取付ける場合、別売のコンクリートフェンスベースをご使用ください。
- 2本のマスト固定ボルトは均等に締付けてください。
- インパクトレンチなど、急激にトルクが加わる工具は使用しないでください。
- ベランダ設置で壁面取付金具を右側または左側に取付ける場合は、柱のサイズによって可動範囲が異なります。
□25×25mm 角柱の場合: 52° φ22mm 円柱の場合: 32°

ステンレスベルトでの取付け

直径が49mmを超えるマストに取付ける場合、市販のステンレスベルト(2本)を使用してください。



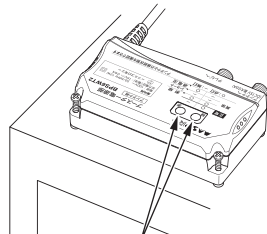
ブースター電源部を取付ける

1. ブースター電源部を設置する

ブースター電源部は、据置きのほか、板壁面に取付けて設置することもできます。

据置き

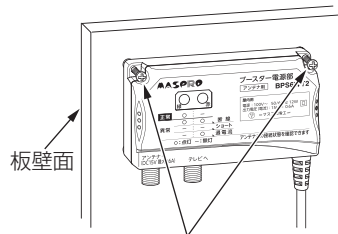
電源(電源部作動)表示灯を上側にして、テレビラックの上などに横置きにします。



電源(電源部作動)表示灯

板壁面

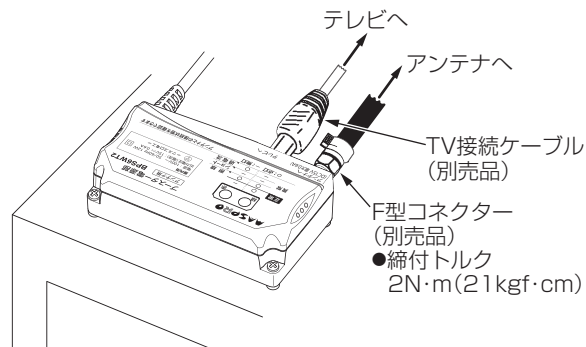
ドライバーで、ブースター電源部に付いている壁面取付用木ねじ(2本)を板壁面にねじ込みます。



壁面取付用木ねじ(2本)

2. ブースター電源部にケーブルを接続する

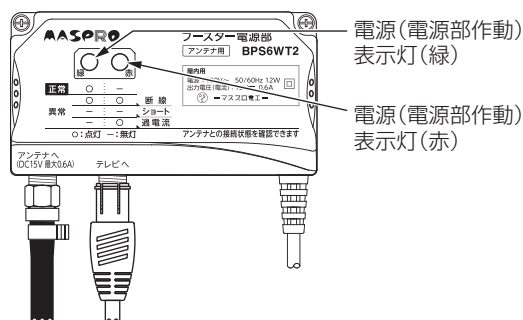
アンテナからのケーブルを、ブースター電源部に接続して、F型コネクターを指定のトルクで締付けます。



3. アンテナとブースター電源部との接続を確認する

異常お知らせ機能

設置工事がすべて終了したら、ACプラグをACコンセントに差込んで、アンテナとブースター電源部の接続状態を電源(電源部作動)表示灯で確認します。



異常のときは

- ① ACプラグをACコンセントから抜いてください。
- ② 右表を参考に、原因を取除いてください。
- ③ ACプラグをACコンセントに差込んでください。

ご注意

電源(電源部作動)表示灯は、アンテナとブースター電源部の接続状態を表示するもので、テレビ信号の状態を表示するものではありません。

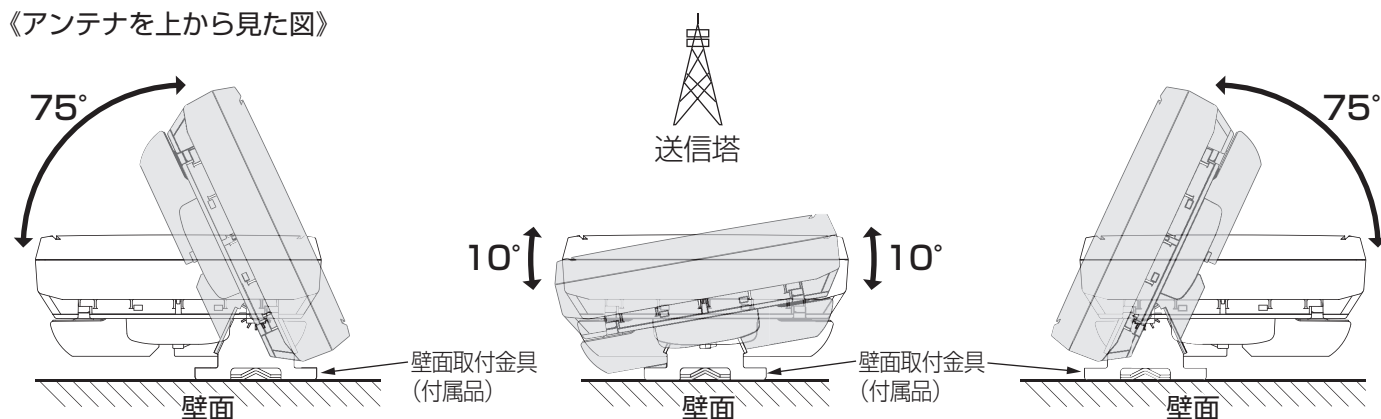
表示灯		作動状態	原因	処置
緑	赤			
点灯	無灯	正常	—	—
点灯※1	無灯	断線(異常)	アンテナに電源が供給されていない。	●F型コネクターの芯線が短くないか確認してください。 - p.6「1.ケーブルにF型コネクターを取付ける」をご覧ください。 ●アンテナとブースター電源部の間でケーブルが断線していないか確認してください。 ●アンテナとブースター電源部の間に、電流通過しない機器が接続されていないか確認してください。
無灯	無灯	ショート(異常)	アンテナに正常に電源が供給されていない。	●F型コネクターの芯線にみ線(編組)やアルミ箔が触れていないか確認してください。 - p.6「1.ケーブルにF型コネクターを取付ける」をご覧ください。 ●アンテナとブースター電源部の間でケーブルがショートしていないか確認してください。※2
無灯	点灯	過電流(異常)	出力電流が規格値(0.6A)を超えている。	UHFアンテナ、BS・110°CSアンテナ、ブースター以外に、電源が供給される機器が接続されて、過電流になっていないか確認してください。

※1 アンテナとブースター電源部を接続しないで、ACプラグをACコンセントに差込むと、断線と判断して、緑と赤の表示灯が点灯しますが、本器の異常ではありません。

※2 BS・110°CSアンテナに給電している場合、その配線も含みます。

アンテナの取付位置と可動範囲

《アンテナを上から見た図》



【送信塔が右側にある場合】
壁面取付金具をアンテナ本体の右側に取付けます。

【送信塔が中央にある場合】
壁面取付金具をアンテナ本体の中央に取付けます。

【送信塔が左側にある場合】
壁面取付金具をアンテナ本体の左側に取付けます。

アンテナの方向を調整する

アンテナの方向調整に必要なもの

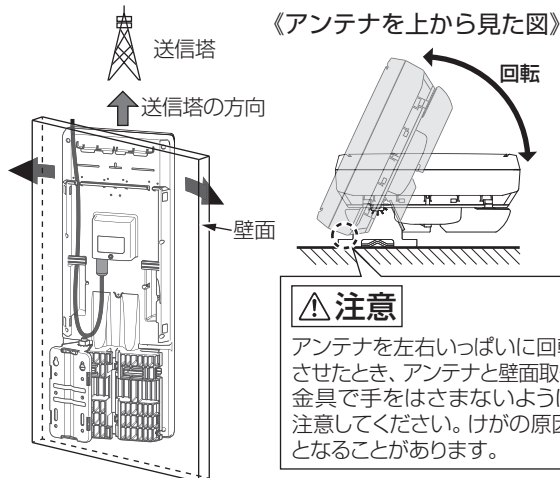
方向調整には、レンチが必要です。

1. アンテナを送信塔の方向に向ける

アンテナの前面を送信塔の方向におおよそ向けます。

壁面設置

アンテナ本体を回転させて、方向を変えます。



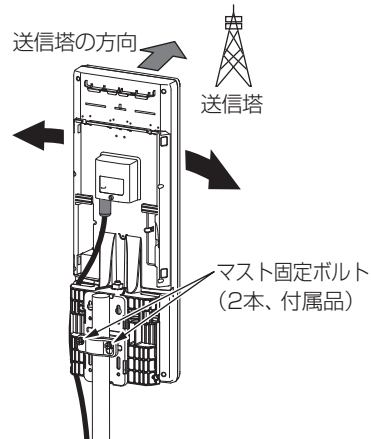
ご注意

レベルチェッカーで方向調整する場合、アンテナ本体を中央に取付けたときは、方向調整後、アンテナ本体を壁面から取外して、アンテナにケーブルを接続し、再度、壁面に設置してください。

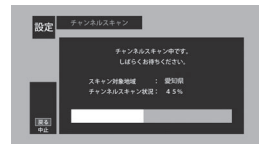
●ケーブルの接続に関しては、p.6「2.アンテナにケーブルを接続する」をご覧ください。

マスト設置

付属のレンチ(D)でマスト固定ボルト(2本)をゆるめて方向を変えます。



「チャンネルスキャン」の表示例



2. 受信チャンネルを設定する

初めて地上デジタル放送を受信する場合、テレビの「チャンネルスキャン(サーチ)」を行なって、受信チャンネルを設定します。

●チャンネルスキャン後、表示されないチャンネルがある場合、アンテナ方向調整をやり直して、再度チャンネルスキャンをしてください。

3. 方向調整をする

テレビの「受信レベル(アンテナレベル)」の値が最大になるように、アンテナを左右に回転させてアンテナの向きを調整します。

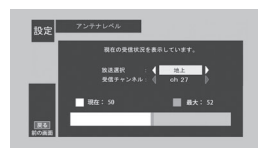
(全チャンネルが映ることを確認してください)

ご注意

●画面の表示は一例で、使用するテレビにより異なります。詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。

●正確な方向調整のために、別売のレベルチェッカーを使用されることをおすすめします。

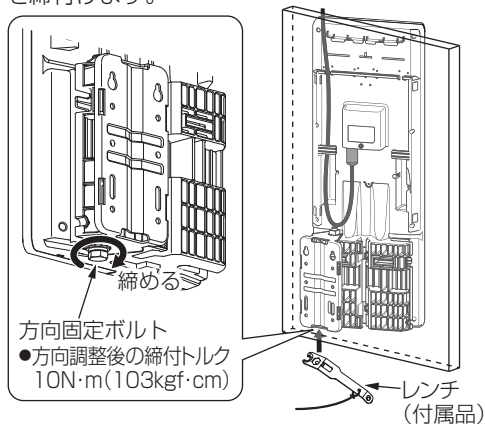
「受信レベル」の表示例



4. アンテナを固定する

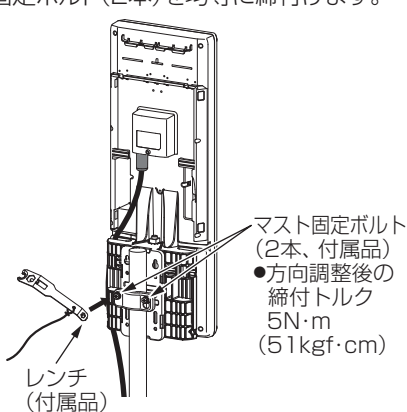
壁面設置

調整後、付属のレンチ(B)で方向固定ボルトを締付けます。



マスト設置

調整後、付属のレンチ(D)でマスト固定ボルト(2本)を均等に締付けます。



ご注意

- 障害物があり、見通しの悪い場所などでは受信できないことがあります。
- 受信レベル(アンテナレベル)は、アンテナの高さでも変わります。高い場所に設置すると、受信レベルが高くなる場合があります。
- 設置後に建物などの環境変化により受信できなくなることがあります。
- インパクトレンチなど、急激にトルクが加わる工具は使用しないでください。

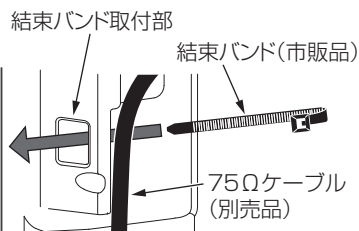
ケーブルの固定方法

ケーブルはアンテナ背面に、右記の2通りの方法で固定できます。

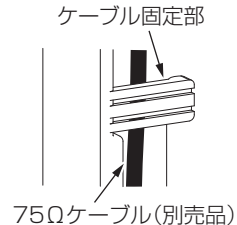
ご注意

別売の75Ωケーブルを引き回す場合、ケーブルの曲げ半径が35mm以上にしてください。受信できなくなる場合があります。

結束バンド取付部に市販の結束バンドを通し、ケーブルを固定します。



ケーブル固定部にケーブルを固定します。



アンテナの取外し方

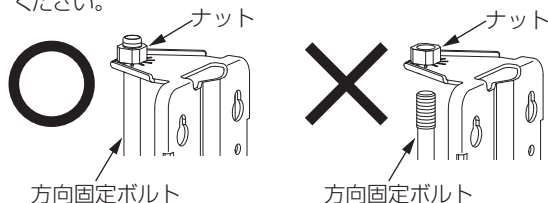
1. 方向固定ボルトをゆるめる

付属のレンチ(B)で方向固定ボルトを、アンテナが左右に動く程度までゆるめます。



ご注意

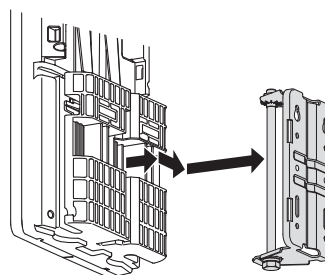
上面のナットから方向固定ボルトが抜けないようにゆるめてください。



2. 壁面取付金具を取外す

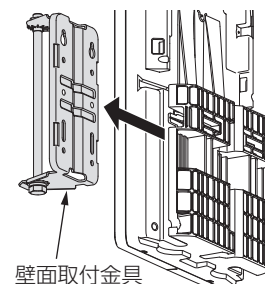
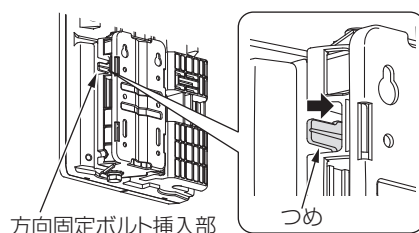
アンテナ本体の中央に取付けた場合

壁面取付金具を手前に引きながら、少し右にずらして引き抜きます。



アンテナ本体の右側または左側に取付けた場合

アンテナ本体の方向固定ボルト挿入部のつめを起こしながら、壁面取付金具を引抜きます。



テレビがきれいに見られないときは

画像が出ない

原因	処置
コネクターの取付け・ケーブルの接続方法が間違っている。	●コネクターが正しくケーブルに取付けられているか確認してください。p.6「1.ケーブルにF型コネクターを取付ける」をご覧ください。 ●ケーブルが、出力端子に正しく接続されているか確認してください。p.6「2.アンテナにケーブルを接続する」をご覧ください。
信号が来ていない。	●各ケーブルが、断線またはショートしていないか確認してください。p.6「1.ケーブルにF型コネクターを取付ける」をご覧ください。 ●F型コネクターの芯線が短かったり、芯線にあみ線(編組)やアルミ箔が触れたりしていないか確認してください。p.6「1.ケーブルにF型コネクターを取付ける」をご覧ください。
受信ができていない。	再度方向調整をしてください。 p.10「アンテナの方向を調整する」をご覧ください。
電源が供給されていない。	ブースター電源部のACプラグをACコンセントに差込んでください。

画像にモザイク状のノイズが出ている



原因	処置
受信レベルが低い。	●症状が消えるように、アンテナの方向を調整してください。p.10「アンテナの方向を調整する」をご覧ください。 ●アンテナの設置場所や高さを変えて、送信塔からの電波が受信できるようにしてください。
	症状が消えるように、アンテナの方向をずらして受信レベルを下げてください。

規格表

アンテナ

水平偏波用

MASPRO

項目	U2SWL20BN	U2SWL26BN
受信チャンネル	ch.13 ~ 52	
アンテナ利得(感度)	7.8 ~ 9.8dB(実力値)	8.4 ~ 10.2dB(実力値)
総合利得 ※1	26 ~ 34dB	27 ~ 35dB
定格出力レベル	90dBμV	
VSWR	2.5以下	
前後比	10 ~ 17dB	12 ~ 18dB
半値角度	70 ~ 83°	68 ~ 81°
インピーダンス	75Ω(F型端子)	
電源	DC15V 0.07A	
消費電力	1.4W	
耐風速	50m/s ※2	
使用温度範囲	⊖ 20 ~ ⊕ 50℃	
適合マスト径	マスト: φ22 ~ 49mm 角柱: 25×25 ~ 45×45mm	
方位角度調整範囲	±75°	
外観寸法 ※3	577(H)×210(W)×107(D)mm(壁面取付時) 577(H)×210(W)×168(D)mm(φ49mmマスト取付時) [アンテナ部: 577(H)×210(W)×48(D) ※4 mm]	620(H)×240(W)×107(D)mm(壁面取付時) 620(H)×240(W)×168(D)mm(φ49mmマスト取付時) [アンテナ部: 620(H)×240(W)×48(D) ※4 mm]
質量(重量)	約2.3kg ※5 アンテナ本体: 約1.8kg	約2.6kg ※5 アンテナ本体: 約2.1kg

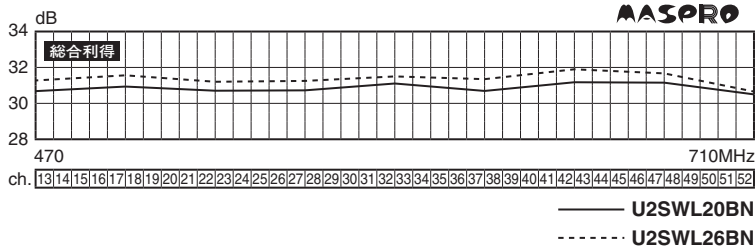
※1 アンテナ利得+ブースター利得
※2 破壊風速
※3 突起部を除く
※4 F型端子部、壁面取付金具固定部を除く
※5 壁面取付金具を含む

ブースター電源部

MASPRO

項目	規格
伝送周波数	10 ~ 3224MHz
入力電圧	AC100V 50/60Hz
出力電圧(電流)	DC15V(最大0.6A)
入・出力インピーダンス	75Ω(F型端子)
挿入損失	2dB以下
VSWR	2以下
使用温度範囲	⊖ 10 ~ ⊕ 40℃
外観寸法	56(H)×105(W)×34(D)mm
質量(重量)	約190g

性能



Master of Production
生産の覇者

ブースター内蔵UHFアンテナ保証書

MODEL ☐ U2SWL20BN、☐ U2SWL26BN (お買上げの製品の型式にチェックを入れてください。)

持込修理

お客様ご住所	
TEL.	-
★お客様お名前	様
★保証期間(販売店記入欄)	
お買上げ日	年 月 日から 1 年間
★販売店名・住所(販売店記入欄)	
TEL.	-

★印の欄にご記入のない場合には保証サービスの提供ができません。
本書は再発行いたしません、紛失しないよう大切に保管してください。

＝マスプロ電気株式会社＝

本社 〒470-0194 愛知県日進市浅田町上納80
技術相談



0570-091119

ナビダイヤル。固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます
IP電話などナビダイヤルが利用できない電話からは 052-805-3366
受付時間 9～12時、13～17時(土・日・祝日、当社休業日を除く)

インターネット www.maspro.co.jp

保証規定

- 店舗購入の場合、故障した本製品(以下「修理品」)、付属品、ご購入日を証明できる書類(領収書など)、および本保証書を、購入した店舗にお持込みください。
通信販売での購入の場合、修理品、付属品、ご購入日が確認できる書類、本保証書、および修理サービス申込書(弊社ウェブサイトからダウンロード)を、弊社修理係に直接ご送付ください。
- お申込み後、弊社の選択により無償修理または無償で新品代替交換(以下「無償修理など」)いたします。
なお、次の場合、無償修理などの対象となりません。
 - 必要な各書類の提示がない、または書類の字句が書換えられた場合
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、戦争、暴動、テロ行為、破壊行為、公害、盗害、力害、異常電圧、またはこれらに類する原因による故障および損傷
 - ご使用上の誤りによる故障および損傷
 - 不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買上げ後の取付場所の移送、輸送、落下などによる故障および損傷
 - 他の機器などにより誘発された故障および損傷
 - 特殊な環境下(例えば車両・船舶への搭載など)で発生されたときの故障および損傷
 - 設置工事、施工の不備によって生じた故障および損傷
 - 消耗部品の交換
 - 日本国外で購入もしくは使用された機器の故障および損傷
 - その他、上記に準じた理由により無償修理などが適切ではないと弊社が判断した場合
- 店舗への持込費用、または弊社修理係へご送付いただく場合の送料はお客様のご負担となります。
- 適切な梱包のうえ、受渡しの確認ができる手段(宅配など)でご送付ください。弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いません。
- 無償修理などを行なった場合、本製品は原則として工場出荷状態でご返却いたします。
- お客様が弊社の保証サービスに関連して弊社の責に帰すべき事由により損害を被った場合、お客様は現実に発生した直接かつ通常の損害に限り弊社に請求できるものとします。弊社が負担する損害賠償の総額は、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
- 修理品に貼付けられたシール、装飾品、塗装、および刻印などについて弊社は責任を負いません。
- 製品の故障によって発生した設置工事費、人件費など、および故障により製品を使用できないことによる逸失利益、代替品の費用などの損害については、弊社は一切の費用負担を行いません。
- 交換の場合、交換された製品・部品の所有権は弊社に譲渡されます。
- 交換または修理完了後の保証期間は、元の保証期間の残存期間の満了日、または製品引き渡し後6か月の満了日のいずれかの長い方とします。
- お客様宛に送付した本製品が宛先不明などの理由により弊社に返送され、弊社の通知後1か月経過しても回答がない場合、お客様が本製品の所有権を弊社へ移転することに同意したものとみなします。
- 弊社が無償修理などの手段として代替品との交換を選択した場合に、修理品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただきます。
- 譲渡品、中古品、転売品(オフショア購入などを含む)については、この規定に記載される保証の適用範囲外とします。
- 本製品の修理期間中、代替機器の提供は行いません。
- 本製品の出張修理は行いません。
- 本保証サービスは、日本国外からは利用できません。

本保証書は、当社以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

- 製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。
- この製品を廃棄する場合、排出する自治体のルールに従ってください。

APR., 2026

2K58-055

TK-64-7055-1T

